

第13章 白山ろく地域（河内・吉野谷・鳥越・尾口・白峰）の方針

1. 地域の概況

（1）位置・面積

本地域は河内・吉野谷・鳥越・尾口・白峰の5地区で構成され、鶴来南部地域と接するとともに、金沢市・小松市・能美市のほか福井県・岐阜県・富山県とも接しています。

本地域の面積は約 65,016ha であり、市全域の 86.1%と市域の大部分を占めています。

【地域の位置】



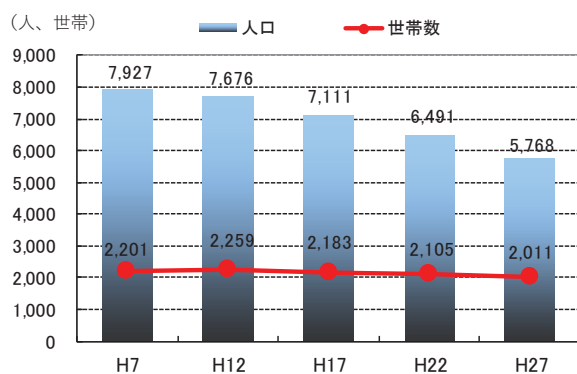
（2）人口・世帯数

本地域の人口は、平成7年からの20年間で2,159人減少（27.2%減少）、平成17年からの10年間で1,343人減少（18.9%減少）しており、人口は減少が続いており、また、市内で最も人口減少が顕著な地域です。

世帯数は平成7年からの20年間で190世帯減少（8.6%減少）、平成17年からの10年間で172世帯減少（7.9%減少）しており、世帯においても減少が続いています。

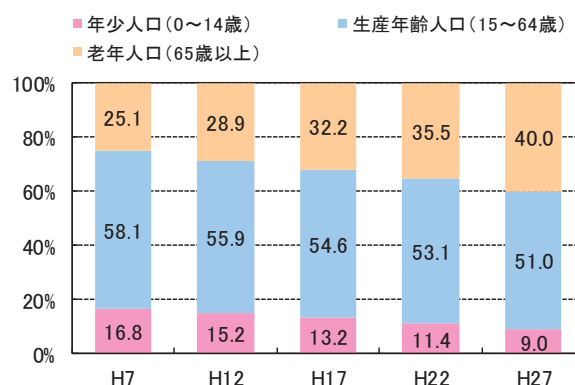
年齢構成は、高齢人口割合の増加がみられ、平成27年で高齢人口割合が40.0%と平成7年から14.9ポイント増加しており、白山市全体における高齢人口割合25.6%よりも大幅に高い割合となっています。

【人口の推移】



出典：国勢調査

【年齢区分別人口割合の推移】



出典：国勢調査

（3）土地利用

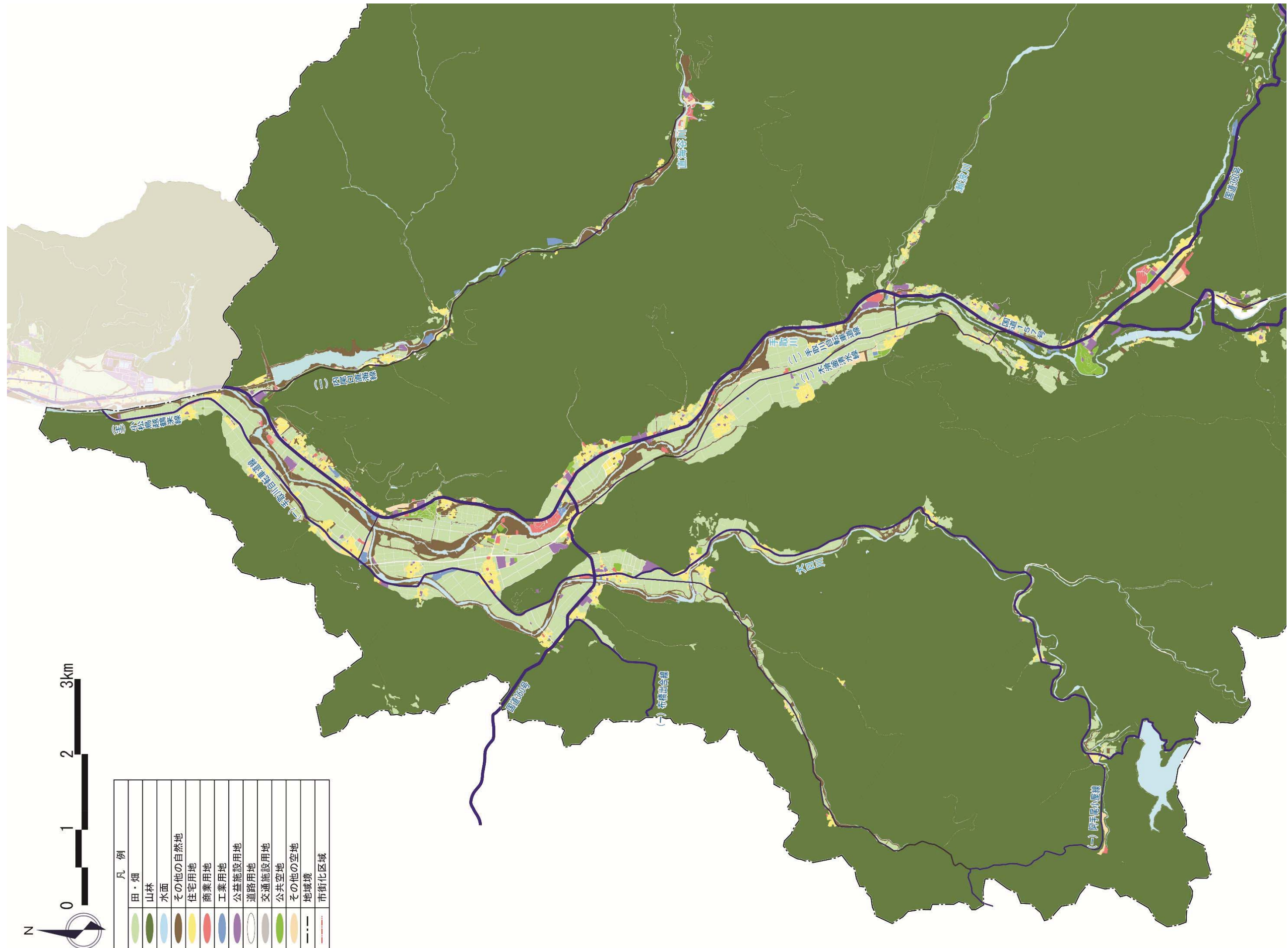
①土地利用規制の状況

本地域は全域が都市計画区域外となっており、用途地域などの指定はされていない状況です。

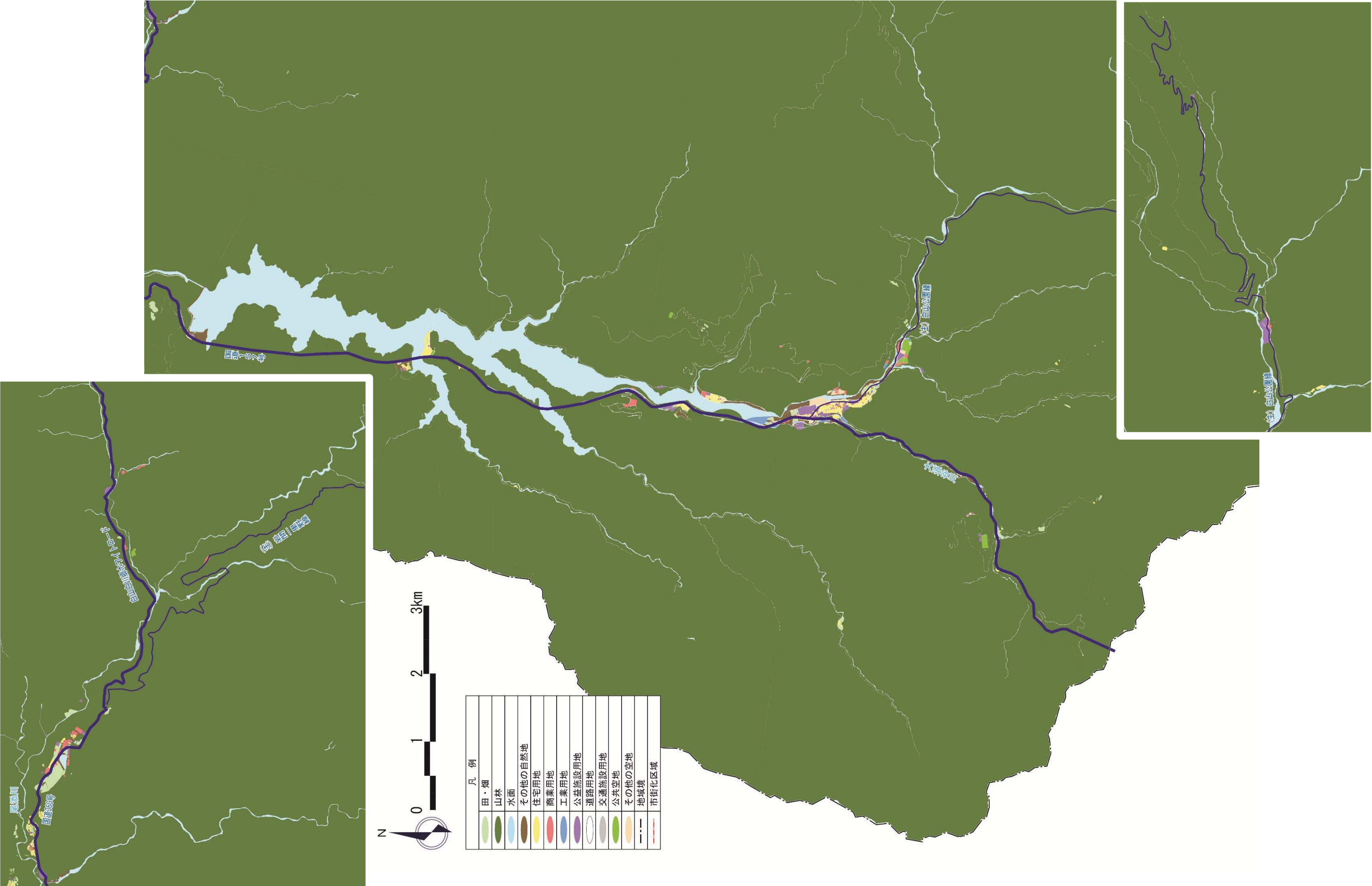
②土地利用状況

本地域の大半は山林となっており、河内、鳥越、吉野谷、尾口、白峰の各地区において小規模な市街地や集落が形成されています。

【白山ろく地域の土地利用現況図 1 / 2】



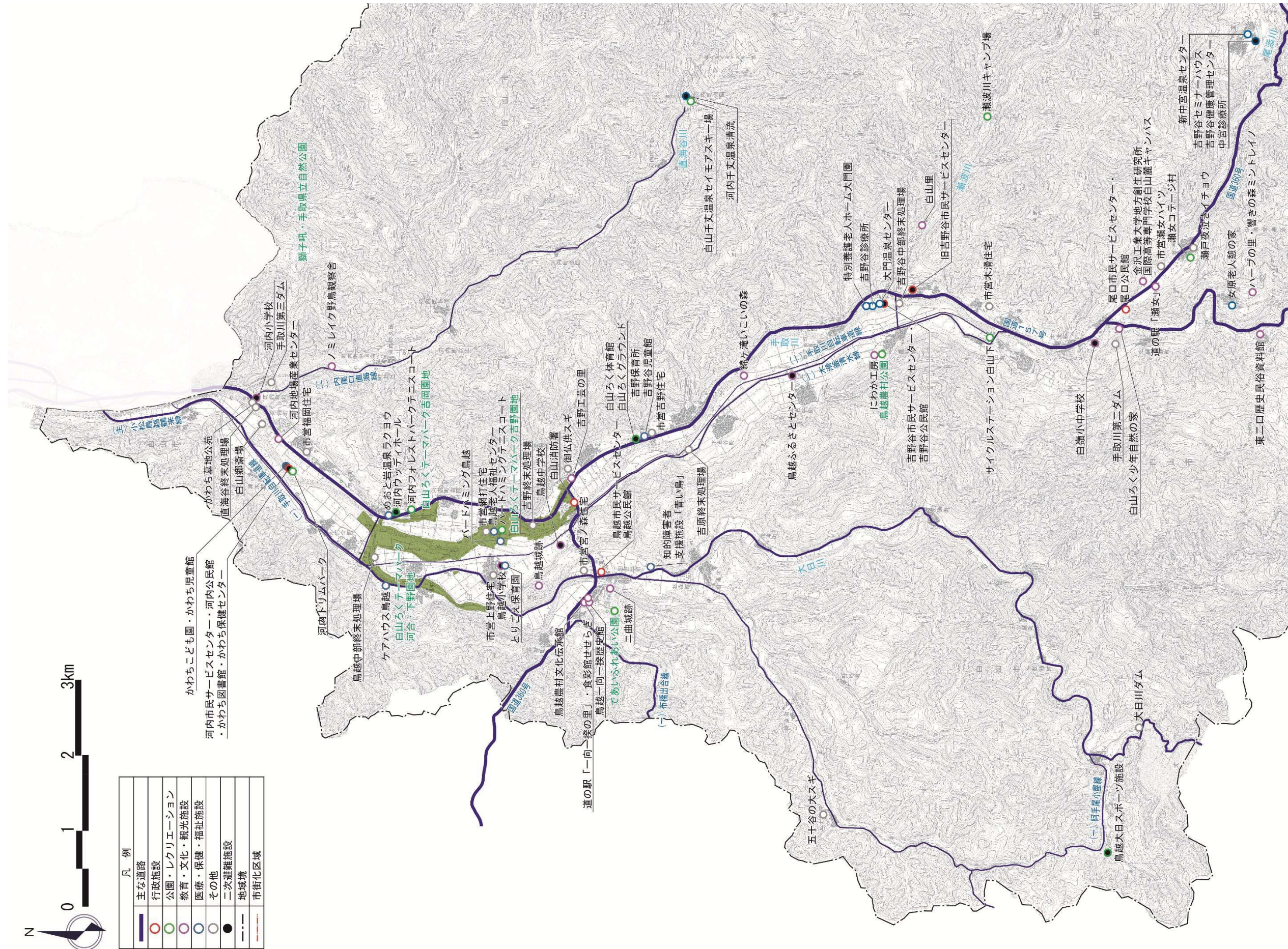
【白山ろく地域の土地利用現況図 2 / 2】



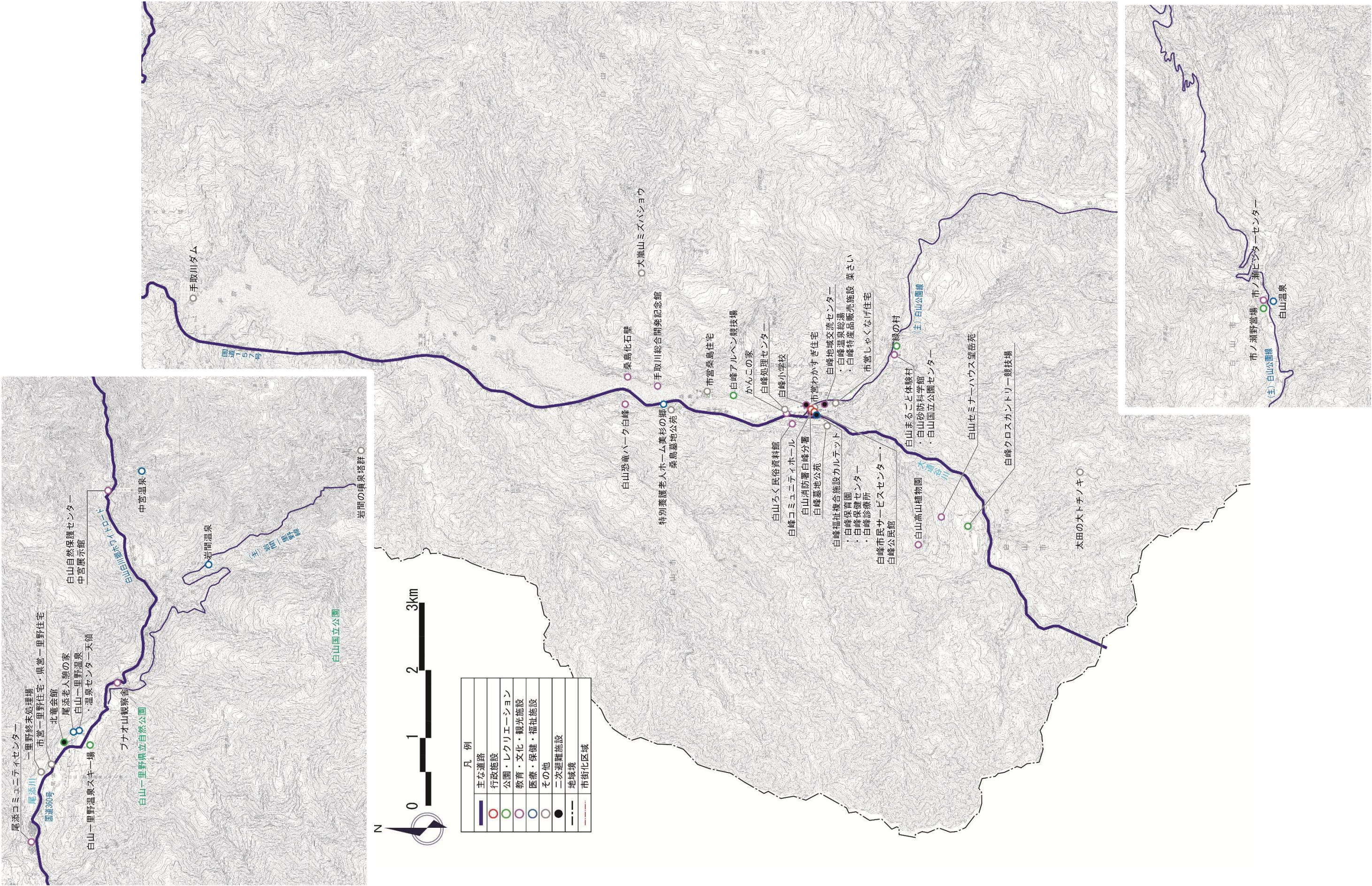
(4) 地域の主な都市施設

項 目		主な施設
行 政		河内・吉野谷・鳥越・尾口・白峰市民サービスセンター、白山消防署、白山消防署白峰分署
公共交通		路線バス、コミュニティバス（めぐーる）、タクシー
道 路		国道157号、国道360号、（主）白山公園線、（主）小松鳥越鶴来線、（一）布橋出合線、（一）木滑釜清水線、（一）内尾口直海線、白山白川郷ホワイトロード、手取キャニオンロード（（一）手取川自転車道線）
公園・レクリエーション		白山ろくテーマパーク、白山国立公園、白山一里野県立自然公園、獅子吼・手取県立自然公園、であいふれあい公園、鳥越農村公園、白山千丈温泉セイモアスキー場、白山一里野温泉スキー場、白峰クロスカントリー競技場、白峰アルペン競技場、白山ろく体育館、北竜会館、白山ろくグラウンド、河内トリムパーク、河内ウッディホール、河内フォレストパークテニスコート、バードハミングテニスコート、サイクルステーション白山下
河 川		手取川、直海谷川、瀬波川、大日川、尾添川、大道谷川
教育・文化・観光	教育	河内小学校、鳥越小学校、鳥越中学校、白嶺小中学校、白峰小学校、白山ろく少年自然の家、金沢工業大学地方創生研究所、国際高等専門学校白山麓キャンパス
	文化	かわち図書館、二曲城跡、鳥越城跡、鳥越一向一揆歴史館、鳥越農村文化伝承館、白山自然保護センター中宮展示館、吉野谷セミナーハウス、東二口歴史民俗資料館、白山恐竜パーク白峰、桑島化石壁、白山砂防科学館、白山国立公園センター、白山ろく民俗資料館、白峰地域交流センター、河内公民館、吉野谷公民館、鳥越公民館、尾口公民館、白峰公民館、手取川総合開発記念館、ノミレイク野鳥観察舎、ブナオ山観察舎
	観光	吉野工芸の里、道の駅「一向一揆の里」、道の駅「瀬女」、河内地場産業センター、綿ヶ滝いこいの森、にわか工房、ハーブの里・響きの森ミニトレイノ、かんこの家、白峰特産品販売施設「菜さい」、白山高山植物園
医療・保健・福祉	医療	吉野谷診療所、中宮診療所、白峰診療所
	保健・福祉	めおと岩温泉ラクヨウ、大門温泉センター、新中宮温泉センター、バードハミング鳥越、鳥越老人福祉センター、ケアハウス鳥越、特別養護老人ホーム大門園、特別養護老人ホーム美杉の郷、知的障害者支援施設「青い鳥」、かわち保健センター、吉野谷健康管理センター、白峰保健センター、かわちこども園、吉野保育所、とりごえ保育園、白峰保育園、かわち児童館、吉野谷児童館
その他		市営住宅（福岡住宅、吉野住宅、木滑住宅、上野住宅、宮ノ森住宅、網打住宅、一里野住宅、瀬女ハイツ、桑島住宅、わかすぎ住宅、しゃくなげ住宅）、県営住宅（一里野住宅）、かわち墓地公苑、白峰墓地公苑、桑島墓地公苑、直海谷終末処理場、吉野終末処理場、吉野谷中部終末処理場、吉原終末処理場、鳥越中部終末処理場、一里野終末処理場、白峰処理センター、手取川ダム、手取川第二ダム、大日川ダム、手取川第三ダム、白山郷斎場

【白山ろく地域の主な都市施設分布図 1 / 2】



【白山ろく地域の主な都市施設分布図 2 / 2】



2. 地域の意向

(1) 市民アンケート結果

重視する施策として、「定住人口が増加し活気のあるまち」が46%（全体から+28ポイント）と多く挙げられている点をはじめ、道路整備や公共交通については「バス交通の利便性向上」（56%、+10ポイント）、「雪に強い交通環境の確保」（56%、+20ポイント）が多く挙げられています。

また、防災・防犯対策として「山間部の雪害対策の推進」（58%、+50ポイント）、「がけ崩れや土砂災害への対策」（48%、+37ポイント）が多く挙げられています。

本地域においては、人口の確保や利便性の確保、災害対策の充実が特に求められています。

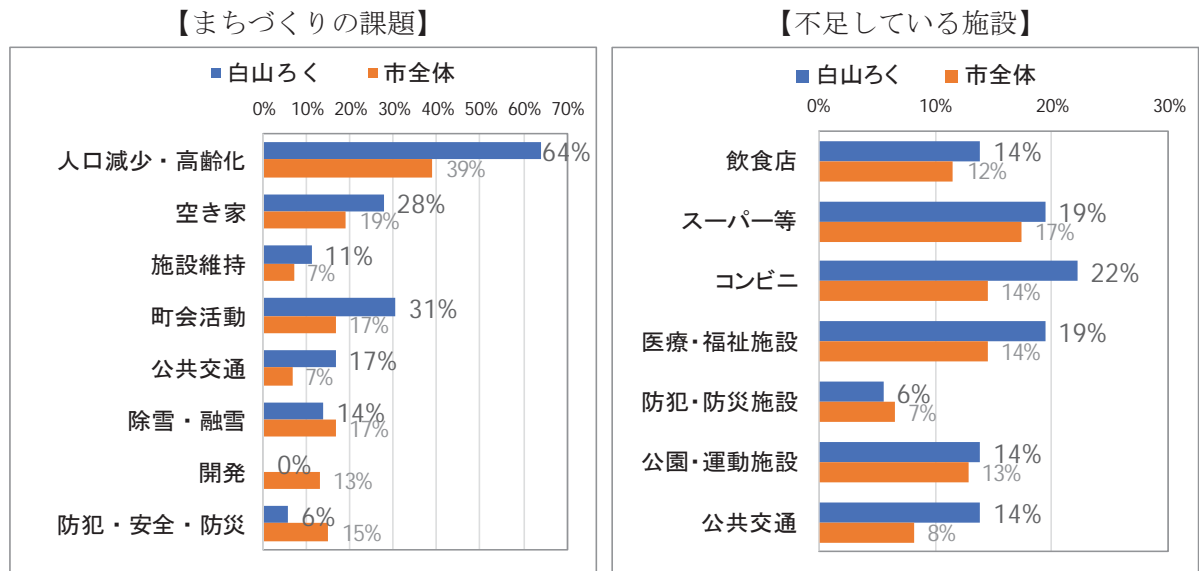
白山市の将来像	(割合)	(全体との差)	重視する施策	(割合)	(全体との差)
① 福祉の充実したまち	41%	-3pt	① 定住人口が増加し活気のあるまち	46%	28pt
② 自然環境を大切にすまち	35%	16pt	② 地域みんなで協力しあうまち	36%	13pt
③ 地域コミュニティが盛んな、心ふれあうまち	15%	5pt	③ 医療・保健福祉の充実	29%	-4pt
良好な住宅地の取り組み	(割合)	(全体との差)	農村・山村地域の活性化	(割合)	(全体との差)
① 空き家、空き店舗などへの対策	46%	15pt	① 観光産業の育成	31%	5pt
② 生活利便施設の立地促進	30%	-7pt	② 加工・販売施設などの整備	28%	2pt
③ 景観への取り組み	25%	7pt	③ 地場製品のPRや販売推進の支援	23%	-6pt
工業振興に必要な都市基盤	(割合)	(全体との差)	商店街等の活性化	(割合)	(全体との差)
① 職住近接の推進	30%	14pt	① 公共交通の充実	53%	7pt
② 工場側の環境対策や美観の推進	23%	-8pt	② 駐車場の確保	32%	-11pt
③ 新たな工業団地の整備	7%	-3pt	③ 定住人口を増やす	29%	8pt
道路整備や公共交通のあり方	(割合)	(全体との差)	公園や緑地の整備	(割合)	(全体との差)
① バス交通の利便性向上	56%	10pt	① 災害などに活用できる公園づくり	32%	-1pt
② 雪に強い交通環境の確保	56%	20pt	② 維持・管理の充実	31%	7pt
③ 維持管理の充実	24%	6pt	③ 子供の遊び場となる身近な公園づくり	21%	-8pt
自然環境や景観の保全	(割合)	(全体との差)	防災・防犯対策	(割合)	(全体との差)
① 里山、水辺などの自然景観の保全	46%	8pt	① 山間部の雪害対策の推進	58%	50pt
② 古いまちなみなどの保全・再生	26%	7pt	② がけ崩れや土砂災害への対策	48%	37pt
③ 合意形成によるルールづくり	25%	1pt	③ ライフライン施設等の機能確保	23%	-15pt

※オレンジ塗り箇所は、全体から10pt以上多い項目、黄色塗り箇所は、全体から5pt以上多い項目

(2) 町内会アンケート

地域におけるまちづくりの課題として、「人口減少・高齢化」が最も多く、64%の町内会から挙げられており、市全体よりも多くなっています（+25ポイント）。

また、地域に不足している施設として、「コンビニ」が22%、「スーパー等」「医療・福祉施設」が19%の町内会から挙げられています。



※割合は自由回答を分類し、町内会数で割り戻したもの

3. 地域のこれまでの取り組みと今後の課題

(1) これまでの主な取り組み (H22.4～R2.3)

土地利用	○まちづくり開発制度の導入
産業	○起業に関する支援（起業家支援事業の実施）
公共交通	—
道路	○（一）布橋出合線のトンネル拡幅（H29） ○手取キャニオンロード（（一）手取川自転車道線）の整備（H23）
公園	○白山ろくテーマパーク河合・下野園地の部分供用（R元.6） ○白山ろくテーマパークの拡充（事業中）
供給処理施設	○上下水道施設の更新・耐震化
河川・砂防・海岸	○白山砂防の整備促進
教育・文化・観光	○白山手取川ジオパーク 日本ジオパーク認定（H23.9） ○河内小学校の整備（H28.12） ○鳥越小学校の大規模改築（H23） ○鳥越中学校の耐震化（H22） ○鳥越公民館の整備（H28.3） ○河内公民館、白峰公民館の移転（H24）、尾口公民館の移転（H26.10） ○金沢工業大学地方創生研究所の開設（H30） ○国際高等専門学校白山麓キャンパスの開設（H30）
医療・保健・福祉	○放課後児童クラブ（とりごえくまっこクラブ）の整備（H23）
環境・景観	○白峰地区の国の重要伝統的建造物群保存地区の選定（H24.7）
防災・交通安全・防犯	○白山砂防の整備促進

(2) 今後の課題

土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○地域のニーズに応じた適正な土地利用と空き家・空き地の有効活用 ○集落の活力維持や生活環境の保全 ○農地の保全や生産基盤の充実、担い手の確保などによる農業振興
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ○路線バスの維持、地域ニーズに応じたコミュニティバスのルート検討、運行本数・利便性の確保
道路	<ul style="list-style-type: none"> ○国道157号や国道360号、白山白川郷ホワイトロードなどの広域ネットワークの機能維持 ○小松白川連絡道路の整備促進による広域ネットワークの形成 ○現道拡幅によるアクセスの向上
公園	<ul style="list-style-type: none"> ○白山ろくテーマパークの維持管理、整備の促進 ○吉野工芸の里と白山ろくテーマパークの連携・有効活用 ○公園の適正な維持管理、地域ニーズに合わせた公園の充実 ○スキー場の適正な維持管理、施設の充実
供給処理施設	<ul style="list-style-type: none"> ○簡易水道や下水道施設の適正な維持管理 ○下水道排水処理施設の統合
河川・砂防・海岸	<ul style="list-style-type: none"> ○手取川や大日川などの河川の水質や自然の保全と水流量の確保 ○大日川などの河川の浸水被害の軽減と河川環境の整備 ○水路の適正な維持管理
教育・文化・観光	<ul style="list-style-type: none"> ○教育施設の整備による安全性の確保 ○鳥越城跡や二曲城跡などの歴史文化財の保全 ○地域各地に存在する文化財の保全 ○地域活動や交流の拠点となる公共施設などの充実 ○白山ろくの観光拠点としての整備・充実 ○大学や高専などの文教機関との連携・交流促進
医療・保健・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉施設の維持・充実 ○公共公益施設のバリアフリー化・ユニバーサルデザインの推進
環境・景観	<ul style="list-style-type: none"> ○地域に存在する豊かな自然環境の保全、利活用 ○手取川などの河川や緑豊かな山間地などの自然環境の保全 ○周辺環境に配慮した施設の誘導・制限による生活環境の保全 ○鳥獣被害対策の推進 ○白山眺望景観や手取峡谷などの良好な自然景観の保全 ○良好な山間地景観や田園景観の保全 ○重要伝統的建造物群保存地区である伝統的まちなみ景観の保全
防災・交通安全・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ○山間地における緑豊かな自然の保全と防災対策 ○山間地における土砂災害対策 ○白山の火山災害対策 ○災害時における避難場所の確保と耐震化の推進 ○除雪体制の充実 ○消雪・融雪装置やスノーシェッドの設置などによる雪害対策の充実 ○交通安全施設の充実による安全確保 ○防犯灯や防犯カメラなどの犯罪防止設備の充実
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○林道の適正な維持管理、整備による機能充実と森林環境の保全 ○老朽化が進む白山郷斎場の再編や新設を含めた施設整備

4. 地域の将来像

【白山ろく地域の将来都市像】

霊峰白山の自然や文化と共に生きていく、 定住と交流による持続可能なまち

本地域が有する豊かな自然環境や文化、歴史観光資源の積極的な保全と有効活用による観光や交流が盛んな地域づくりと、災害に強い自然と共生できる地域をめざします。また、定住の促進と居住環境の充実、交流活動の促進により、これからも持続することができる地域づくりをめざします。

【白山ろく地域のまちづくり方針】

方針①：集落の利便性確保と定住人口の確保による活力維持

- ◇集落の活力維持のための人口減少の抑制と生活利便施設の充実、拠点の形成
- ◇集落における空き家や遊休農地の活用
- ◇公共交通の利便性の維持と地域ニーズに応じた運行体系の検討
- ◇市内通勤圏における就業の場の確保
- ◇高齢化に対応した福祉施設や地域医療体制の充実

方針②：豊富な観光・歴史資源を活用した交流人口・関係人口の増加

- ◇高等教育機関と連携した地域の課題解決の研究
- ◇スキー場をはじめとした観光施設の維持と利用促進、新たな魅力付け
- ◇歴史文化資源の再整備
- ◇地域の特産品や資源を活用した交流人口および関係人口の増加
- ◇地域と教育機関の連携による交流促進

方針③：災害に強い地域の形成

- ◇河川の氾濫・堤防の侵食・砂防・急傾斜地・火山対策などの防災対策の推進
- ◇地域住民との協働による雪害対策の推進

方針④：美しい自然環境や景観の保全および活用

- ◇白山国立公園における貴重な自然の保全
- ◇田園・里山・山間地空間や豊富な自然環境の保全と有効活用
- ◇森林の適正管理と保全
- ◇峡谷の俯瞰^{ふかん}景観や白山眺望、重伝建などの良好な景観の保全

5. 地域のまちづくり方針

(1) 土地利用の方針

①住宅系土地利用（白山ろく集落地区）

安心して住み続けられる地域を守るため、地域に存在する住宅地や集落は、地域住民の活動・交流拠点の強化や生活利便施設や福祉施設などの維持や就労の場の確保に努め、「小さな拠点」の形成（集落生活圏の維持）に努めます。また、地域ニーズに応じた宅地の整備や空き家バンクを通じた空き家・空き地の有効活用などにより、定住人口の確保、起業家や店舗開業者の誘致を図ります。

白峰地区などの伝統的な民家や文化が残されている地区は、まちなみ景観や歴史的風致および伝統文化の保全のための支援など、総合的な整備を推進します。

②田園系土地利用（中山間地田園地区、白山ろく集落地区）

地域に存在する農地については、白山市を支える重要な農業基盤施設として、水稻作付や水稻種子およびそばの生産を中心とした優良農地として維持・保全に努めるとともに、遊休農地の解消を推進します。

地域の各地に存在する小規模農地などでは、農地の集約を図り、地域の特色をいかした農作物の生産に向けて支援するとともに、転作田や普通畑の高度利用など、生産性の向上を図ります。

地域内各地に点在する既存集落や住宅地などにおいては、優良農地の保全や周辺の田園景観と調和した集落環境の充実を図るとともに、集落の活力維持のための適正な宅地開発を促進し、生活利便施設の立地を誘導します。

③自然系土地利用（水辺・里山地区、山間地区）

地域の全域に広がる山間地においては、地すべりや砂防、急傾斜地の崩壊への防災対策の促進による市民の安全性確保を最優先としながら、希少な動植物が生息する箇所における生態系の保全を図ります。

手取川をはじめとした河川では、水質の保全や災害の防止に努めるとともに、豊かな水環境を活用した親水空間づくりを図ります。

④その他の土地利用（教育・研究開発地区、観光・文化・レクリエーション地区）

地域内において、自然環境への影響が少ない研究開発関連企業などの誘致に取り組み、就業の場の確保に努めます。

白山ろくテーマパークや地域内に存在するスキー場などは、豊かな自然の魅力をいかした観光・文化・レクリエーションの拠点として整備・充実を図るとともに、鳥越城跡や二曲城跡^{ふとげ}の史跡公園の整備・充実や文化財の保全に努めます。

特に吉野工芸の里は、金沢市、小松市、福井県、岐阜県を結ぶ結節点でもある国道157号と国道360号との交差点部に位置しており、白山市の観光文化の拠点として、白山ろくテーマパークとも連携した整備計画を検討し、施設の整備・充実を図ります。

(2) 都市施設整備の方針

(2)-1 交通

①バス交通

路線バスは、現行の各路線および運行本数が維持されるよう関係機関に働きかけます。

コミュニティバスは、現状の機能維持とともに、地域のニーズに応じた適正なルートやダイヤの検討、デマンド方式の運行範囲の検討を行うなど、地域間や地域内移動の利便性の向上に努めるとともに、地域の移動手段の充実・確保に努めます。

(2)-2 道路

①幹線道路

国道157号は、落石・雪害対策施設の充実や橋梁・トンネルの耐震化など防災機能の強化・維持に努め、小松白川連絡道路の早期整備を促進するとともに、ネットワークの構築を検討します。

国道360号、白山白川郷ホワイトロード、(主)小松鳥越鶴来線などは、本地域と他の県市町へのアクセスする路線として、広域ネットワークの充実を図るとともに、交通量や歩行者の状況に応じた路肩改良による歩行者スペースの確保や、1.5車線化などを促進し、落石・雪害対策施設などの防災機能充実と道路の適正な維持管理を図ります。また、これら以外の幹線道路についても、同様に機能充実と道路の適正な維持管理に努めます。

②生活関連道路

集落内の道路や地区間を結ぶ道路などの幅員の狭い道路においては、道路の状況に応じて改善を図り、安全・安心な地域づくりを推進します。

(2)-3 公園・その他の都市施設

①身近で親しみやすい公園

地域に存在する住宅地や集落においては、既存公園の適正な維持管理に努めるとともに、住民参加による維持管理の促進により、地域住民の愛着醸成を図ります。

その他の地区においては、地域のニーズに合わせ、空き地などを有効活用した子どもや高齢者が気軽に利用できる地域の交流の場の創出を促進します。

②観光の拠点となる公園・緑地など

観光・レクリエーションの拠点となる公園である白山ろくテーマパークは、本地域の住民だけでなく、白山市内外の多くの人々が訪れる憩いの場として、施設の維持・充実とともに未整備区域の早期整備を促進します。

③歴史・文化的な公園

鳥越城跡・二曲城跡^{ふとげ}においては、史跡公園としての施設の再整備および有効活用に努めます。

④スポーツ・レクリエーション施設

地域各地に存在するスキー場などは、豊かな自然の魅力をいかしたスポーツ・レクリエーションの拠点としての維持・充実や利用促進を図るとともに、地域の交流やにぎわいの拠点としての利活用を図ります。

白山ろく体育館や白山ろくグラウンドをはじめとする各地区のスポーツ施設は、地域住民の健康づくりや交流の拠点および災害時の避難施設として、施設の維持・充実に努めるとともに、利用促進を図ります。

⑤墓地・墓苑、斎場

地域に存在する市営墓地公苑については、機能の維持・充実に努めます。

また、老朽化が進む白山郷斎場の再編や新設を含めた施設整備を検討します。

(2)-4 供給・処理施設

簡易水道施設などについては、老朽化施設の改修や適正な維持・管理により、安全・安心でおいしい水の安定供給に努めるとともに、統合事業を計画的に進め適正に管理します。

下水道については、終末処理場などの既存施設の機能維持に努めるとともに、今後新たに開発する区域においては、必要に応じて事業計画の見直しを行い、整備を推進します。開発が点在する区域においては、合併処理浄化槽による処理を行うなど、快適な生活環境の充実と自然環境の保全に努めます。

(2)-5 河川・水路

手取川や大日川は、浸水被害を防ぐとともに、水流および水量の確保などにより良好な河川環境を創出するなど、河川改修・整備を促進します。

地域東部の尾添川や牛首川などの急峻な河川においては、砂防堰堤などの関連施設の整備を促進することにより、土砂災害から地域の安全性を確保します。

(3) 教育・文化・観光の方針

①教育施設の充実および適正配置

老朽化が進む鳥越中学校については、施設の大規模改造を行います。

②文化・交流施設の充実

河内公民館、吉野谷公民館、鳥越公民館、尾口公民館、白峰公民館は、地域活動や交流の拠点として、適正な施設の維持および利用環境整備に努めます。

地域各地に存在する集会施設は、町内会活動の拠点として、施設整備や改修などへの支援を行います。

鳥越一向一揆歴史館や白峰化石調査センター、東二口歴史民俗資料館は、貴重な教材でもある出土品や化石、民俗資料の学習の場として、施設の充実に努め、有効活用を図ります。

また、貴重な化石などが発見されている桑島化石壁は、国指定天然記念物である手取川流域の珪化木産地の一部であり、産出した岩石の調査研究や教育、普及を目的とする活動を支援する

とともに、周辺環境の保全と施設の維持に努めます。

白山山頂とその禅定道沿いに残されている多くの貴重な文化遺産については、国の史跡指定に向けて、今後も調査を進めていきます。

③観光

地域各地に存在する観光施設や宿泊施設などは、適正な維持管理および施設の整備・充実、国内外へのPR・誘致による利用促進に努め、地域の交流やにぎわいの拠点としての利活用を図ります。特に吉野工芸の里は、国指定天然記念物で日本の名木百選にも選ばれた御仏供スギをシンボルとした、白山市の観光文化の拠点として整備・充実を図ります。

また、本地域は豊かな自然を有していることから、訪れた人々が気軽に自然にふれあい、楽しむことができる登山道や遊歩道などの整備・充実を図ります。

④高等教育機関との連携による地域活性化

白山ろく地域においては、本市が策定したSDGs未来都市計画に基づき、尾口地域の旧かんぼの宿跡地に、金沢工業大学が新たに開学したキャンパス「地域創生研究所」と「国際高等専門学校白山麓キャンパス」などと連携し、里山地域が抱える様々な社会課題の解決策を探り、先進的な白山のモデル事業を白山ろくから発信し、平野部を含む市内全域に広めることで、市全体の発展をめざします。

また、白峰地域においては、東京大学の地域解決に関わる10の部局からなる「東京大学地域未来社会連携研究機構」による、白峰の古民家を改修した「ライン館」として、全国2箇所目となる「サテライト拠点」を設置し、学生や教員のフィールドワークなどに活用するなど、関係人口の拡大をめざします。

(4) 医療・保健・福祉の方針

①高齢者福祉施設の充実

地域包括ケアシステムの深化・推進に努めるとともに、地域バランスやニーズを考慮しながら高齢者福祉施設の充実を図ります。

②障害者福祉施設の充実

障害のある人の地域生活の安定と社会参加のため、地域包括ケアシステムの構築を踏まえ、施設の充実をめざします。

③子育て支援施設の充実

放課後児童クラブおよび保育施設については、必要に応じて地域の状況に対応した増改築や耐震化を促進し、子育てを支援するための環境整備に努めます。

④公共公益施設のバリアフリー化の推進

様々な住民が利用する公共公益施設については、バリアフリー化やユニバーサルデザインの推進などにより、だれもが利用しやすい環境づくりに努めます。

⑤市民温泉の充実

市民温泉については、市民の健康づくりや地域の交流拠点として、設備の見直しを進め、持続可能なサービスの提供に努めます。

⑥地域医療体制の充実および移動手段の確保

地域内に存在する診療所が今後においても維持されるよう、関係機関に働きかけるとともに、新たな診療所の誘致など地域医療体制の充実に努めます。また、公共交通の充実による日常的な病院への移動手段の確保を図るとともに、緊急時における搬送体制の充実に努めます。

⑦その他の施設

公営住宅については、適正な維持管理に努めるとともに、「市営住宅基本計画」に基づき、今後の人口動態の変化に合わせた施設整備を検討します。

地域内においては、携帯電話不感地帯の解消や光ファイバー網が整備されており、これらの有効活用を促進するとともに、行政・地域情報や防災・災害対策情報の提供など情報通信環境の整備を推進します。

(5) 環境・景観などの方針

(5)-1 環境

①自然環境の保全

豊かな自然環境を有する白山国立公園や県立自然公園においては、動植物の保護や水環境の保全を積極的に促進するとともに、国や県、関係自治体、地域の団体などと連携しながら、自然学習や自然体験などの利活用を推進し、イベントやエコツアーなどの活動を支援します。特に、特別天然記念物をはじめ、絶滅危惧種に区分されている野生動植物や貴重な高山植物の保護を促進するとともに、特定外来生物および外来植物除去作業の推進など、良好な自然環境の保全に努めます。

地域内の山間地は、地域に潤いを与える自然資源として、適正な管理や市民の理解・協力による森づくりを促進します。

手取川をはじめとして、手取川水系の直海谷川・大日川など地域に存在する多くの河川は、豊富な動植物が生息し、農業などにおいても重要な資源でもあることから、盗難防止パトロールの実施や地域住民への協力要請などによる生態系の保護を図るとともに、水質改善に関して、必要に応じて関係機関へと働きかけます。また、その他にも地域には、ホタルが生息するなど良好な自然環境が多く残されており、将来にわたり自然と共生する地域づくりを推進します。

廃棄物の不法投棄に対する定期的な監視や意識啓発を行うことにより、良好な自然環境の保全に努めます。

②生活環境の保全

地域各地における集落においては、周辺の良好な自然環境へ十分に配慮しながら、上下水道の充実や雪対策などにより、良好な生活環境の確保を図ります。

(5)-2 景観

①集落の景観形成・保全

良好な集落景観が形成されている地区においては、まちづくり協定などの住民・事業者主体のルールづくりを促進し、良好な景観形成の保全を図ります。

国の重要伝統的建造物保存地区として認定された白峰地区においては、建築物などの保全・修景により、魅力あるまちなみ景観づくりを促進します。

また、空き家の利活用により集落景観の魅力を高め、新たな景観づくりにつなげていきます。

②水・緑の景観形成・保全

白山手取川ジオパークに認定されている白山市の魅力的な眺望景観のPRを図るため、手取峡谷などの河川景観や白山眺望景観は、白山市を代表する良好な景観として保全に努めるとともに、これらの美しい景観を眺望できる場所や遊歩道の充実を図ります。

地域の北部に広がる大規模な農地や地域の地形をいかした棚田などが創りだす田園集落景観や、広大な山林により四季折々の季節感を演出する山間地景観については、農地の保全や森林の整備、無秩序な開発の抑制などにより、良好な景観の保全に努めます。

地域内に数多く存在する史跡・天然記念物周辺などは、古くからの歴史を^しの郷土愛を育む歴史的景観として保全するとともに、次代へと継承していきます。

人と自然との交流空間である里山においては、森林施業などを促進し、良好な里山景観の形成・保全を図ります。

(6) 都市防災・交通安全・防犯対策の方針

(6)-1 防災

①土砂災害に強い地域づくり

地域内の各地に存在する崩落の可能性がある急傾斜地は、法面保護などの対策を促進することにより、市民の生命や財産を守ります。また、手取川水系の河川沿いなどに多く存在する土砂災害（特別）警戒区域（土石流・地すべり・急傾斜地の崩壊）では、治山・治水・砂防対策により、地域の安全確保に努めます。

土砂災害ハザードマップにより危険性や早期避難の重要性に関する啓発に努めます。

②地震や火災などの災害に強い地域づくり

地震や大火災などの大規模災害時において安全に避難できるように、避難場所の適正な配置のほか、避難施設の耐震化に努めるとともに、避難場所周辺において災害が懸念される箇所では、危険箇所の解消や避難路の確保などの対応を行うことにより地域住民の安全を確保します。また、消火栓などの消防水利の充実・強化に努めます。

災害時の応急対策活動を円滑に行うため、防災活動拠点と輸送拠点を有機的に結ぶ安全性・信頼性の高い緊急輸送ネットワークの整備・充実に努め、道路の破損により陸上輸送に支障をきたす場合に備え、輸送拠点となるヘリポートなどの確保に努めます。

③雪害に強い地域づくり

バス・通学バス路線などの公共交通機関が通行する路線、集落から国道や県道につながる主要な幹線道路の交通確保を最優先とし、生活道路の除雪については、地域住民の協力を得ながら除雪体制の強化に努めます。また、交通量の多い道路については、消雪・融雪装置の整備を図り、集落内の生活道路については、地域との協議により適切な消雪・融雪装置や流雪溝などの整備を検討します。

雪崩が懸念される箇所において、雪崩防止柵やスノーシェットの充実などにより、地域の安全確保を図るとともに、住宅地や集落においては、屋根融雪化の促進などにより、安全・安心な地域づくりを推進します。

④減災に向けた地域づくり

二次避難施設への備蓄品配備を進めるとともに、地区単位での避難所運営が実施できるよう防災訓練を支援し、防災意識の醸成や災害時における地域住民の共助がなされる地域づくりに努めます。

(6)-2 交通安全・防犯対策

集落内およびその周辺における自転車歩行者道が未設置の幹線道路や、見通しが悪く幅員の狭い道路、通過車両のスピードが速く危険な箇所においては、自転車歩行者道の設置や交通安全施設の充実などによる安全性の確保に努めます。

通学路などにおいては、防犯灯や防犯カメラの充実などにより防犯体制の強化に努め、地域住民の安全・安心を確保します。

(7) 森林・里山保全の方針

①森林の保全

水資源を涵養^{かんよう}するなど森林の多面的機能を保持するため、国や県などの諸制度を積極的に活用し、間伐活動や下草刈などの森林施業の共同化や受委託を促進します。

地域各地に存在する林道は、林業振興の基盤施設として、適正な維持管理や機能の充実に努めます。また、手入れが行き届いていない森林を新たな森林経営管理制度によって整備を進めていきます。

②里山の保全

里山における身近な自然環境は、適正な保全・整備を図るため、地域や民間活動団体などによる里山保全活動を支援します。

農作物に被害をもたらす動物が出没する地区においては、環境整備、侵入防止、捕獲を3つの柱として、集落ぐるみでの総合的な対策に取り組みます。

(8) その他の方針

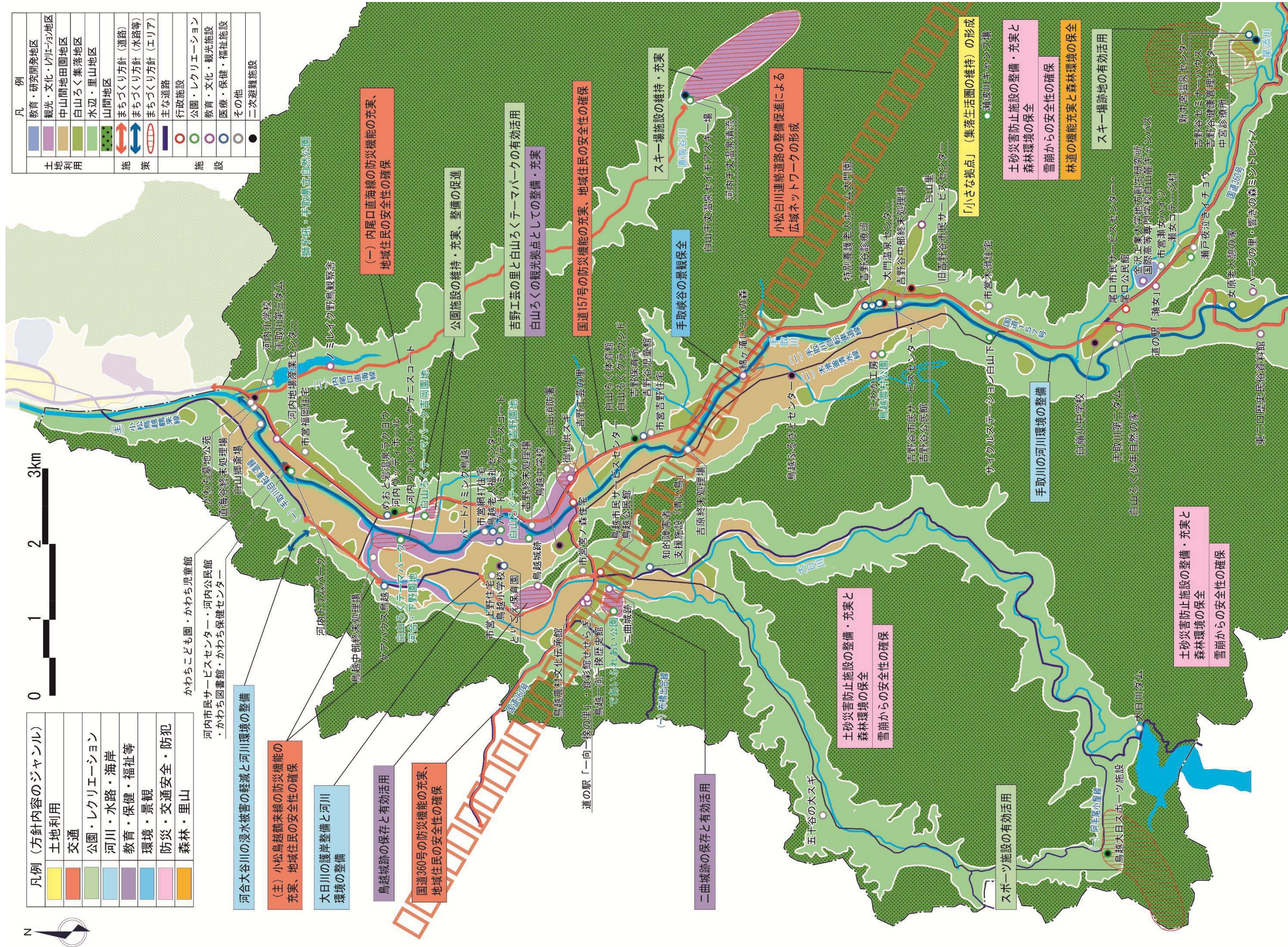
①市民協働

地域の多様化する課題に対応しながら、だれもが将来にわたって安心安全で住みよいまちを

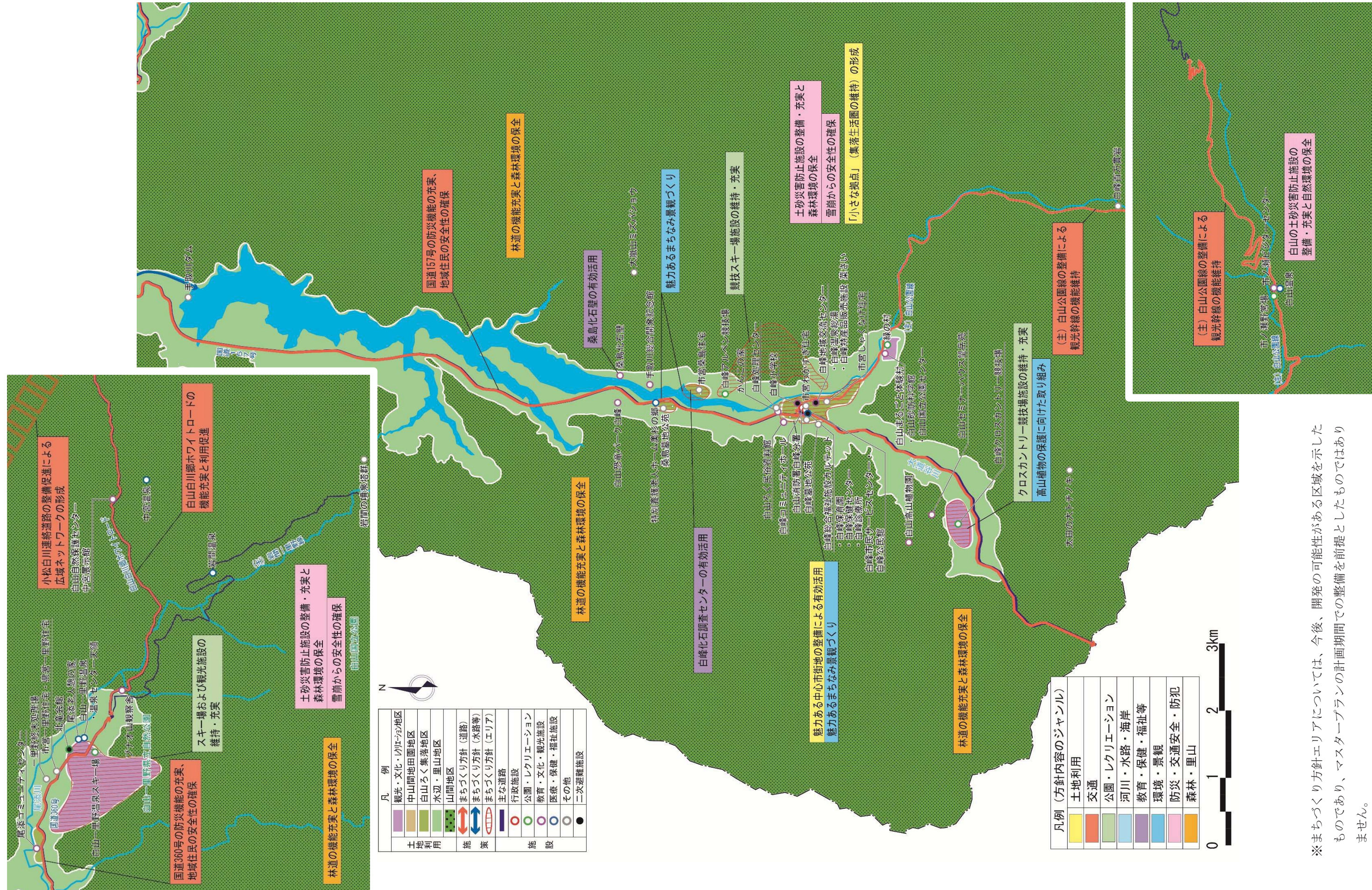
実現していくため、地域と行政が共にまちづくりに取り組む「市民協働で創るまちづくり」を進めていきます。

地域の特色に応じたまちづくりを進めるため、地域全体で担う新たな地域コミュニティ組織の設立や、その活動を支援する新たな制度について検討を進めるとともに、まちづくり活動に対する気運の醸成や担い手の育成に努めます。

【白山ろく地域のまちづくり方針図1/2】



【白山ろく地域のまちづくり方針図2/2】



※まちづくり方針エリアについては、今後、開発の可能性がある区域を示したものであり、マスタープランの計画期間での整備を前提としたものではありません。